

満蒙開拓記念館建設に支援を

24日に平和学習会

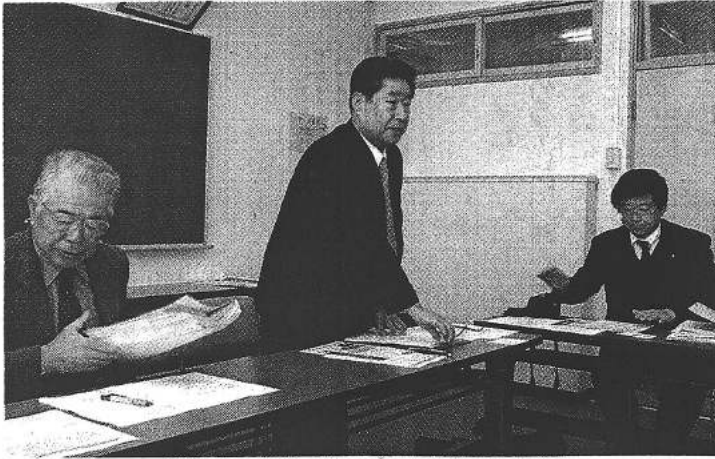
阿智 講師に井出孫六さん

準備会など

阿智村で建設準備が顧問にも就任している満蒙開拓平和記念館の事業支援をねらいに、二十四日、同村中央公民館で、作家井出孫六さんを招いた平和学習会が開かれる。

同公民館主催、満蒙開拓平和記念館事業準備会後援。井出さんは現在の佐久市出身で、中国残留孤児問題に詳しく、同準備会の名誉強が集まり、二〇一

六日に同公民館で記者会見した準備会会長の河原進飯田日中友好協会会長によると、二億五千万円を目標にしている建設資金に対してこれまでに三千万円を、同準備会の会員募集や資料提供も呼びかけている。河原会長は「厳しい環境にはあるが、本格的な支援も求め、身の丈にあった会館建設を目指したい」と事業への協力を求めている。問い合わせは同準備会 ☎0265-435580へ。(吉田幸雄)



講演会事業などについて説明する河原会長(左)＝阿智村の中央公民館で

4.22.1.7 信濃毎日新聞

満蒙開拓平和記念館 支援を 準備会、500人目標に会員募る



新たに募る会員などについて説明する「満蒙開拓平和記念館」事業準備会の役員ら

阿智

下伊那郡阿智村に建設が計画されている「満蒙開拓平和記念館」の事業準備会は6日、準備会の活動を継続的に支援する会員の募集を始めると発表した。会費収入を建設までの事務経費に充てるほか、開

館後の維持運営にも多くの人が携わる仕組みを整えるのが狙いだ。

準備会の河原進会長(飯田日中友好協会長)らが同日、村内で会見して説明した。会員の年会費は2千円で、500人を目標に一般から広く募集する。これまで準備会のメ

ンバーは飯田日中友好協会の役員らが中心で、事務経費も同協会が負担したり、一般からの寄付金に頼ったりしていたという。

今後の日程は、2010年度に基本設計を終え、11年度中の着工を目指す。寄付金などで賄う建設に向けた目標額は2億5千万円だが、現在はまだ3千万円余にとどまっている。

河原会長は「国や県の支援を受けられるのが大きな流れを決める」としながらも、「財政的に厳しくても、身の丈に合った規模の施設を目指す」と話した。

入会の問い合わせは準備会事務局(☎0265・43・5580)へ。また、阿智村公民館は24日午後1時半から、満蒙開拓や残留孤児の問題についての著書が多く、準備会の名誉顧問でもある作家、井出孫六さん(佐久市出身)の講演会を開く。入場無料。